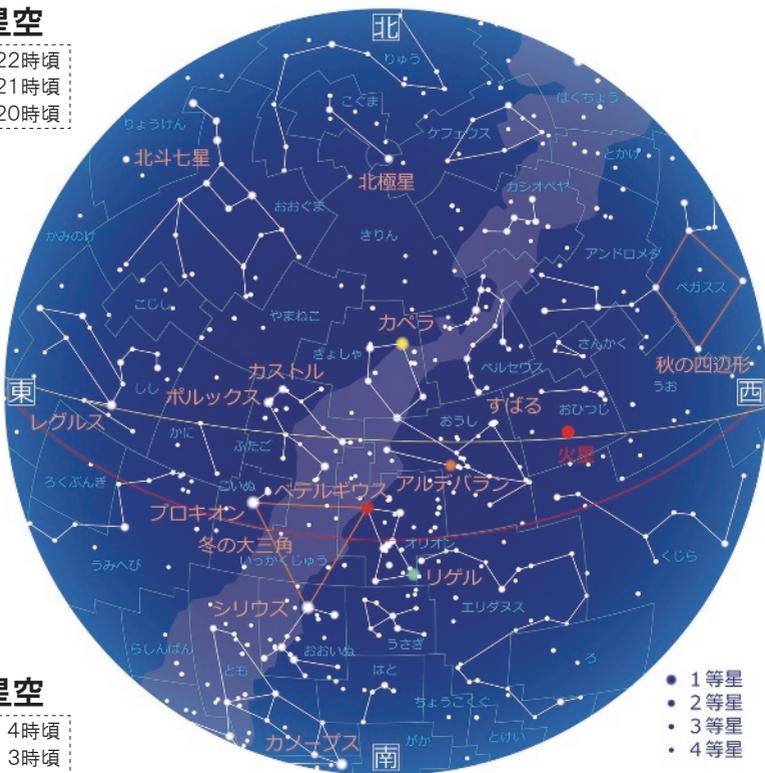


星空ガイド 1月16日～2月15日

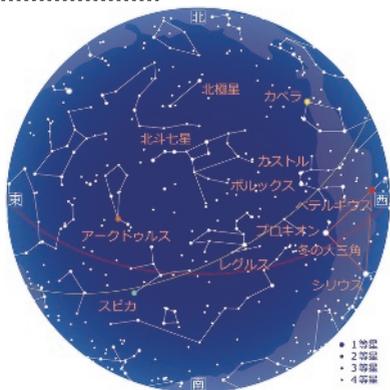
よいの星空

1月16日22時頃
2月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

1月16日 4時頃
2月 1日 3時頃
15日 2時頃



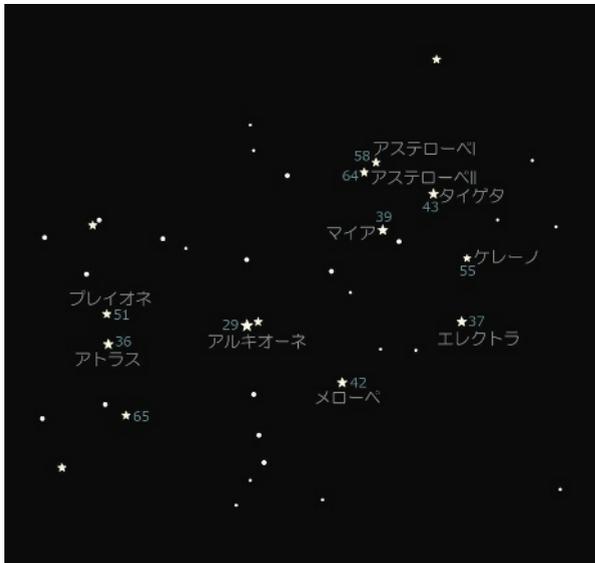
[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
1	16	土	7:04	17:11	9:21	20:15	2.9
	21	木	7:02	17:16	11:42	0:05	7.9
	26	火	7:00	17:21	14:47	4:50	12.9
2	1	月	6:56	17:27	21:09	9:14	18.9
	6	土	6:52	17:32	1:40	12:07	23.9
	11	木	6:47	17:37	6:38	16:55	28.9
	15	月	6:43	17:40	8:49	20:58	3.3

※惑星は2021年2月1日の位置です。

すばるを見よう

オリオン座の向かって右上、おうし座の背中あたりに、すばるがあります。すばるはプレアデス星団という名も持ち、肉眼でもいくつかの星が集まっている場所です。星の良く見える場所では、存在感があって、すぐに見つけることができるのですが、都市部でも、場所さえちゃんと分かれば、意外と見つけられます。実際に自分の住んでいるところで、何個の星を見ることができるか、チャレンジしてみましょう。



すばるの星と等級(5.0等は50と表示)

ちなみに、多くの書籍

で、「星の良く見えるところでは、6~7個数えることができる」と書いてあることが多いのですが、すばるで7番目に明るい星はプレイオネで5.1等、8番目に明るい星はクレーノで5.5等、9番目に明るい星はアステローペIで5.8等ですので、本当に星が良く見える環境で数えると、8~9個数えられたりします。また、一番明るい星はアルキオーネの2.9等ですので、大阪の市内中心部はともかくとして、そこそこの都市部でもアルキオーネだけは見えることはありそうです。空気の澄んだ夜にチャレンジしてみましょう。

飯山 青海(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
1	20	水	大寒(太陽黄経300°)
	21	木	●上弦(6時)/夕方南の空で月と火星が約5°離れて並ぶ/月が最遠(404,400km)/火星と天王星が約1.6°まで接近
	24	日	水星が東方最大離角(夕方の西の空で観察のチャンス) 土星が合

月	日	曜	主な天文現象など
1	29	金	○満月(4時)/木星が合
2	3	水	立春(太陽黄経315°)
	4	木	月が最近(370,100km)
	5	金	●下弦(3時)
	8	月	水星が内合
	12	金	●新月(4時)
	15	月	明け方の超低空に水星・金星・木星が約5.5°の範囲に集まる